

2008 年（平成 20 年）度
農林水産省情報ネットワーク（共通システム）
に係る業務・システム最適化実施評価報告書

2009 年（平成 21 年）8 月 20 日
農林水産省行政情報化推進委員会決定

1. 農林水産省情報ネットワーク（共通システム）に係る業務・システムの概要

項 目	内 容
個別管理組織担当課室名	農林水産省大臣官房情報評価課
府省全体管理組織 担当課室名	農林水産省大臣官房情報評価課
対象期間	2008 年 4 月 1 日～2009 年 3 月 31 日
最適化工程の段階	企画段階

2. 企画段階における評価

(1) 省内ネットワーク統合に関する設計

（最適化の実施内容）

本最適化計画における省内ネットワークの統合に当たっては、統合後のネットワーク環境が現行の LAN システム、グループウェアシステム、インターネットシステム及びその上で動作する個別システムに影響を与える場合、回線容量等に配慮し、事前に当該システムの管理部門と十分な調整を行うこととする。

（最適化の実施状況）

- (ア) 統合ネットワークの検討開始に合わせ、個別管理組織（PJMO）メンバー等間での、最適化計画実施の進捗・課題の共有を図るための検討会を設置し、定期的（毎週）に開催し検討を重ねた。
- (イ) 省内ネットワーク統合に向けた 2008 年度の作業計画及び接続要件等について、省内各部局庁のネットワーク管理担当者向けに対し説明会を実施するとともに、具体的内容に関して調整を行った。
 - ・全体説明会 : 2008 年 4 月実施

【最適化実施の評価】

○ 課題及び問題とその原因

2007 年度よりネットワーク統合に向けた設計を開始しているが、各府省共通システムについては、当省全体管理組織（PMO）を通じて各府省共通システム窓口担当への確認を引き続き行っているが、ネットワークを利用する利用頻度及び必要回線帯域等、具体的仕様が示されていないものがある。

○ 対策

PMOを通じて情報収集を継続し、可能な限り設計・検討要件として盛り込むこととする。

(2) 運用管理業務の一元化についての検討

(最適化の実施内容)

- ・省内ネットワークの運用管理体制を一元化し、ネットワーク構成管理、ネットワーク監視等の運用管理業務を22年度より統一を行うことによる業務処理時間の短縮効果については、どのような方法で統合ネットワークの運用管理を一元化するかにより大きく異なるため、18年度末までにその効果を明確にし、運用管理に関する業務処理時間の短縮を図る。
- ・LANシステムの運用管理体制を一元化し、IPアドレス（コンピュータに割り当てられた識別番号）の管理と付与、LAN端末からのアクセスに関する記録（ログ）等の収集、保管等の運用管理業務を22年度より統一に実施することによる業務処理時間の短縮効果については、どのような方法でLANシステムの運用管理を一元化するかにより大きく異なるため、18年度末までにその効果を明確にし、運用管理に関する業務処理時間の短縮を図る。
- ・グループウェアシステムの運用管理体制を22年度より一元化することによる業務処理時間の短縮効果については、どのような方法でグループウェアシステムの運用管理を一元化するかにより大きく異なるため、18年度末までにその効果を明確にし、運用管理に関する業務処理時間の短縮を図る。
- ・統合後のインターネットプロバイダの運用管理体制を一元化し、インターネットシステムの運用管理業務を22年度より統一を行うことによる業務処理時間の短縮効果については、どのような方法でインターネットシステムの運用管理を一元化するかにより大きく異なるため、18年度末までにその効果を明確にし、運用管理に関する業務処理時間の短縮を図る。

(最適化の実施状況)

運用管理方法について、省内担当者と協議を継続し、基本要件を統合ネットワーク仕様書案に盛り込む検討を行っている。2010年度からの最適化実施後の運用段階で、一元化の効果として確実に目標を達成できるよう、統合ネットワークの調達において運用管理体制一元化に対応した保証要件を設定する。

【最適化実施の評価】

○ 課題及び問題とその原因

府省共通システム等を含む個別システムの管理組織から、今後ネットワークを利用する上で必要とする総利用者数、利用頻度、同時利用者数、利用者回線帯域、輻輳時対応要件及び利用時間等要件が示されていないものがあるため、保証要件として設定できないものがある。

○ 対策

PMOを通じて情報収集を継続し、可能な限り盛り込むこととする。

3. 最適化の効果の評価

本最適化計画実施によるネットワーク全体としての効果は、ネットワーク統合を行った翌年（最終的な目標年度）である 2010 年度から発現することとなる。一方、最適化計画を進めるに当たり取り組んだ LAN システム等の見直しにより 2006 年度から効果が発現しており、2008 年度において発現した削減効果についても、本省 LAN システム等の更新・運用において、機器調達時における仕様の精査など、最適化計画を踏まえ執行の合理化に努めた結果、実効上の効果が発現したものと考えている。

4. 最適化実施の総合評価

(1) 課題管理・対応状況

最適化計画を踏まえた省内ネットワーク統合に向けた設計及び本省 LAN システムの更改など効率的かつ確実に実施されており、今後、予定される省内ネットワークの統合等に向け、着実にプロジェクトを遂行していくことが必要である。

(2) 総合評価

評価の結果、今後も最適化計画に沿って実施すれば特段支障は生じないものと認められる。

5. その他

なし

6. 添付書類

・最適化効果指標・サービス指標一覧

最適化効果指標・サービス指標一覧
(農林水産省情報ネットワーク)

1 最適化共通効果指標

(1) 最適化共通効果指標

①削減経費（単位：千円）

全体	初年度目	2年度目	3年度目	4年度目	5年度目
	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
最適化実施前の経費(a)	1,388,000 (828,000)	1,388,000 (828,000)	1,388,000 (828,000)	1,388,000 (828,000)	1,388,000
最適化実施後の経費(試算値)(b)	555,000	506,000	506,000	506,000	1,180,000
削減経費(目標値)((a)-(b))	273,000	322,000	322,000	322,000	208,000
最適化実施後の経費(実績値)(c)	534,000	500,000	506,000		
削減経費(実績値)((a)-(c))	294,000	328,000	322,000		

※() 書きはLANシステム、グループウェア関連の経費である。

内訳

省内ネットワーク・インターネット	初年度目	2年度目	3年度目	4年度目	5年度目
	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
最適化実施前の経費(a)	560,000	560,000	560,000	560,000	560,000
最適化実施後の経費(試算値)(b)	—	—	—	—	419,000
削減経費(目標値)((a)-(b))	—	—	—	—	141,000
最適化実施後の経費(実績値)(c)	—	—	—	—	
削減経費(実績値)((a)-(c))	—	—	—	—	

LANシステム、グループウェア	初年度目	2年度目	3年度目	4年度目	5年度目
	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
最適化実施前の経費(a)	828,000	828,000	828,000	828,000	828,000
最適化実施後の経費(試算値)(b)	555,000	506,000	506,000	506,000	761,000
削減経費(目標値)((a)-(b))	273,000	322,000	322,000	322,000	67,000
最適化実施後の経費(実績値)(c)	534,000	500,000	506,000		
削減経費(実績値)((a)-(c))	294,000	328,000	322,000		

②削減業務処理時間（単位：時間）

全体	2005年度	2010年度			
	最適化実施前の業務処理時間(a)	最適化実施後の業務処理時間(試算値)(b)	削減業務処理時間(目標値)((a)-(b))	最適化実施後の業務処理時間(実績値)(c)	削減業務処理時間(実績値)((a)-(c))
時 間	17,620	1,950	15,670		
金額換算(千円) (3,125円/時間)	55,063	6,094	48,969		